

《担当者名》 看護福祉学部准教授 / 巻 康弘 歯学部講師 / 水谷 博幸

【概要】

・近年、歯科衛生士を取り巻く環境は大きく変化してきた。それに従い保健関係法規も、めまぐるしく改正が行われている。従来、歯科衛生士業務の大半が診療補助にあった。勿論これも重要な業務であるが、それに加え、歯および口腔疾患の予防処置や保健指導が歯科衛生士業務として重要視されてきていることを忘れてはならない。本教科では、地域社会における歯科保健指導者として必須の事項、すなわち衛生行政機構、衛生関係法規の要点を理解することを目的とする。

・高齢化社会の進行にともない保健医療と福祉の連携の必要性が強調されている中で、保健医療に携わる専門家として社会保障と社会福祉の概要を理解しておくことは重要である。社会保障と社会福祉の基本理念を学ぶとともに、現行制度の種類と内容及び今後の課題について学習する。

【学修目標】

- 歯科衛生士として実務に従事するのに必要な法的知識を習得する。
- 歯科衛生士の業務を正しく理解する。
- 国の行政機構についての理解を深める。
- 社会福祉制度、公的扶助制度、社会保険（医療保険、年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険、介護保険）の概要を理解する。
- 歯科保健医療と係わりの深い医療保険制度の種類としくみについても理解する。
- 日本の医療状況の動向についても理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	法制概論 1. 日本国憲法 2. 法の種類 3. 三権分立	衛生行政は憲法が直接要求する行為であることを知る。 憲法25条の内容について学ぶ。 法の種類とその種類について学ぶ。	水谷 博幸
2 3 4	医療と法律 1. 歯科五法 (歯科衛生士法、医療法 他) 2. 保健師・助産師・看護師法 3. 医医療医療機器等法 4. 母子保健法 5. 学校保健安全法医療法 6. 地域保健補婦 7. 労働安全衛生法 他	歯科医業に関する法律について理解する。 医療従事者、施設等名称の定義を知る。 医療行為は民事における契約行為であることを知る。 医療従事者に課せられた業務上の刑事・民事・行政責任について理解する。 刑事罰、行政処分の内容を学ぶ。 医療過誤・医事紛争について実例から学びその対応法についても考える。 損害賠償算出根拠の概要について知る。	水谷 博幸
5 6	歯科衛生士法 1. 法の概念 2. 免許 3. 義務および業務 4. 試験 5. 施行規則 6. 罰則	歯科衛生士法について十分に理解する。 免許取得条件を学ぶ。 歯科衛生士に課せられた義務を知る。 歯科衛生士の業務範囲を知る。 実務上の手続きについても学ぶ。 違反規定、処分内容について知る。	水谷 博幸
7 8	衛生行政機構 1. 衛生行政の概要 2. 衛生行政組織 厚生労働省 都道府県 市町村 3. 地域保健法 4. 保健所 5. 市町村保健センター 6. 保健事業 7. 保健統計	我が国の衛生行政機構について知る。 保健所の機能と業務内容について知る。 市町村保健センター設置の経緯とその目的を知る。 法的根拠を持った各種保健事業を整理して理解する。 保健統計の名称、分類、数値を理解する。	水谷 博幸

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
9	医療機関 1. 医療施設 2. 医療関係者 3. 国民の病傷状況 4. 国が実施する統計調査	我が国の医療施設、医療関係数を把握し地域間の分布に偏向があることを知る。 どのような病傷で国民が医療機関を受診しているかを、統計をもとに理解する。 基幹統計調査、一般統計調査の分類を知る。	水谷 博幸
10	社会保障制度 社会保険	社会保障制度の歴史的経緯と概略を理解する。 社会保険の種類と特徴について学習する。	巻 康弘
11	医療保険	医療制度改革、医療保険の種類、健康保険法、国民健康保険法、高齢者医療確保法、審査支払機関などの概要を学習する。	巻 康弘
12	介護保険 雇用保険と労働者災害補償保険	介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険の概要について学習する。	巻 康弘
13	社会福祉行政と生活保護	社会福祉行政と生活保護の概要について学習する。	巻 康弘
14	児童・家庭、障害者、高齢者と 社会福祉	児童・家庭福祉、障害者福祉、高齢者福祉などの概要について学習する。	巻 康弘
15	医療の動向	国民の受療状況、歯科医療従事者数、国民医療費、歯科診療医療費の概要について学習する。	巻 康弘

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験と授業態度で総合的に判定する。

【教科書】

「歯科衛生士と法律・制度」全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版

【学修の準備】

授業終了後、当日に必ず復習ノートを作成しておくこと。（180分）

次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。（60分）

【実務経験】

巻 康弘：社会福祉士、認定社会福祉士（医療分野）、認定医療社会福祉士、介護支援専門員

水谷 博幸：歯科医師、日本口腔衛生学会指導医、介護支援専門員

【実務経験を活かした教育内容】

巻 康弘：医療機関・相談機関でのソーシャルワーカー（社会福祉士など）としての実務経験を活かした実践的な教育を行う。